

FLASH_USER_INFORMATION

1. 動作概要

Flashのユーザーインフォメーションエリアの書き換えを行います。
EWARMのデバッグ機能を使用して動作確認を行います。

2. 各設定

TMPM4KQ

SW

UART設定

TXD	:SW4 (PortA2)
ボーレート	:UT1TXDA (PortU5)
データ	:115200(bps)
パリティ	:8(bit)
ストップビット	:なし
フロー制御	:1(bit)
	:無し

3. 基本動作

デバッグ開始時、Teratermとライブウォッチを表示させます。
ライブウォッチへGetUserInformationDataを登録します。
プログラムを実行します。

TeratermにPlease press the SW4と出力されたら
SW4を押します。

TeratermにFinished. check a variable GetUserInformationDataと出力されたら
ライブウォッチの変数GetUserInformationDataに

例)Toshiba TMPM4KQ User Information Exampleと書き込まれていることを確認します。

4. ターミナルI/O表示例

プログラム開始時

FLASH User Information Area Write

SW4 入力待ち

Please press the S4

RAM展開時

RAM transferring.

消去時

Erasing.

書き込み時

writing.

書き込み完了時

Finished.
check a variable

5. 特記事項

同じスイッチの多重押しはケアしません。